

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「みやざきスギ長寿命木造住宅に対する仕組に関する事業」

2. 事業実施期間

平成22年 6月 ~ 平成23年 2月28日

3. 事業主体

みやざき緑の循環プロジェクト

4. 事業の成果



地元産スギ材の最大限の活用を試み、構造材、羽柄材に至るまで、宮崎県産SGEC認証材に防蟻・防腐・形状安定剤を注入した自然乾燥材を使用。平成22年10月着工





内装材、建具材にも県産のスギ材を使用、今までの木造軸組構造真壁造りの概念（大黒柱に大きなタイコ梁）を革新、県職員、森林組合員等をお招きしたオープンセレモニーで、多大な評価を得ることが出来た。





又、断熱・気密工法の検討では、真空断熱材等がまだ製品化されておらず、やむなく壁体内結露の最小であるセルロスファイバー断熱で4等級以上の性能で施工した。平成22年11月18日に現場見学会を開催し、県産杉材の良さ、省エネ断熱工法、長寿命化の方策等、来場者に説明。



自立循環型を考慮した設計を行なったが、南方型の気候に対応できる快適性には機械の補助も必要になり、独自の省エネ性の高い「新換気システム」を導入した。このシステムは学識経験者とメーカーと共に特許出願中であり、快適性を一番に考える顧客には、非常に反応が良かった。現在、温熱環境のデータを取得中であり、まとめて発表する所存である。



今後は5年間の展示期間中に、消費者に地元産スギ材の良さを理解してもらい、なぜ使うべきなのかを啓蒙すると共に、「家」の大切さ、在り方、快適性・省エネ性の創造等、住宅という物を愛し、大事に使う方法や維持管理の方法を説明し、メンテナンス・リノベーション等で長く住み続けていくことの大切さをアピールしていきたいと考えています。



(記載上の注意)

1. 用紙の大きさは、日本工業規格で定めるA列4とし、縦位置左綴とすること。なお、各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えないが、枚数は3枚を限度とする。
2. 本文の文字のフォントはMS明朝とし、サイズは11ptとすること。
3. 「1. 事業名」は、採択された事業名を記入すること。
4. 「4. 事業の成果」は、今年度に行った事業によって得られた成果及びその技術革新性、目的の達成状況についてわかりやすく記入すること。必要に応じて、今後の事業の展開に関する計画等についても記入して差し支えない。また、主要な事業実施方法、手段等の事業の経過を簡潔に記入すること。